

＜ もくじ ＞	
1. シニア社会塾：秋の二つの講演会のお知らせ	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	2～4
4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内	4

1. シニア社会塾：秋の二つの講演会のお知らせ

すでに JAAS News 第215号および第216号で予告いたしましたように、今年度のシニア社会塾では、9月と10月の2回にわたって「秋の講演会」を企画いたしました。その詳細が決まりましたので、改めてお知らせします。

この企画は、3年計画で進められている「持続可能な超高齢社会をめざして」という大テーマの深化に結びつくようなテーマで開催いたします。一つは、超高齢社会の持続可能性の条件の一つである、自然環境の維持・自然エネルギーへの転換可能性に関するテーマであり、もう一つは、超高齢社会に対するわれわれ自身の人生の向き合い方にかかわるテーマです。詳細については、今回の JAAS News 217号に添付するチラシをご覧ください。ぜひ多くの会員およびお知り合いの方のご参加をお待ちしております。

(1) 9月16日の講演会

- 1) 講師：吉原 毅（城南信用金庫顧問、原発ゼロ・自然エネ推進協議会会長）
 - 2) テーマ：「自然エネルギーで世界は大発展！～フクシマから学ぶもの～」
なお、河合弘之監督『日本と原発 4年後 法廷版』（30分）を上映します。
 - 3) 日時：2017年9月16日（土） 14：00～16：30
 - 4) 場所：駒澤大学 9号館179教室（別添チラシに案内図があります）
 - 5) 参加費：一般1000円、学生（社会人を除く）500円
- ◆ 「一般社団法人シニア社会学会」と「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」の共催
※ 申込方法：チラシまたはExcel 申込用紙を利用して、事務局あてに、FAX かメールにてお申し込みください。

(2) 10月28日の講演会

- 1) 講師：木村利人（元恵泉女子大学学長、早稲田大学名誉教授）
 - 2) テーマ：「戦争・平和・いのちを考える～態度に示そう Creative Aging」
なお、講演中、ベトナム戦争当時の枯葉剤による被害の映像を上映します。
 - 3) 日時：2017年10月28日（土） 14：00～16：30
 - 4) 場所：駒澤大学 1号館202教室（別添チラシに案内図があります）
 - 5) 参加費：一般1000円、学生（社会人を除く）500円
- ◆ 「一般社団法人シニア社会学会」主催
※ 申込方法：チラシまたはExcel 申込用紙を利用して、事務局あてに、FAX かメールにてお申し込みください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第42回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年9月26日（火）18：00～20：00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：河藤佳彦（高崎経済大学）
- 4) テーマ：「震災復興の産業政策」（仮称）
- 5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター
＜現代の危機と共生社会＞研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所の
メンバーは無料）

※ お問い合わせは、福原（fukuhara@jaas.jp）までお願いいたします。今回は曜日が火曜日に
変更になりましたのでご注意ください。

(2) 第47回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年9月28日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・大隈会館教職員レストラン楠亭（個室）
Tel：03-5285-1121（リーガロイヤルホテル東京内）
場所が通常とは異なりますので、ご注意下さい。
- 3) テーマ：発表と討議 — ソーシャルキャピタルについて
発 表 者 — 大下勝巳さん。

4) 参加費：300円

5) その他：個室での例会終了後、レストランに場所を移し、懇親会を予定しています。

※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）迄お願い致します。

3. 各研究会の概要報告

(1) 北海道部会 市民講座＜自分らしく生き抜く力を養う＞概要報告

1) 日 時：2017年6月22日（木）13：30～15：30

2) 場 所：札幌市教育文化会館 小ホール

3) プログラム：

1、講座開催に当たりご挨拶

一般社団法人シニア社会学会会長 お茶の水女子大学名誉教授 袖井 孝子 氏

2、加齢に伴う体の変化について

北海道大学理事・副学長北海道大学大学院医学研究院 教授 笠原 正典 氏

3、諸行無常を生きる、今、何を為すべきか

札幌大谷大学 前学長 齋藤 孝憲 氏

4、高齢者同士の共助

北星学園大学 教授 田辺 毅彦 氏

5、介護の段階の大変さと健康寿命の重要性

社会福祉法人宏友会 地域連携室推進部長・人材育成部長 菊地 伸 氏

6、ご参会御礼

一般社団法人シニア社会学会 北海道部会長 弁護士 小寺 正史 氏

司会進行 札幌市議会議員 篠田江里子氏

- 4) 入場者数 200 人を上回りました。全員、シニア世代であったと思われます。
- * 積み上げたアンケート用紙を入場者が座席へ任意に持ち込んだ数は154部でした。参加者の7~8割の人がアンケート用紙を自ら取った仮定、また、目視などと勘案し200人以上は入場しているということになります。
- 5) アンケート用紙回答からの受講者の反応と今後の展開
- ① 全ての回答には、シニアは“自ら解を出して最後まで生きなければ”という納得が得られたことが記載されており、講座への感謝が読み取れました。
 - ② 回答の中には、シニア社会学会会長挨拶(竹川代読)のなかで英国の学者の著書が紹介されたことに触れたものもありました。すなわち、“人生を生き抜く変身力”が著書の内容として引用され、そのことに興味を持ちました。この本に関する何らかの機会を作って欲しいと記されていました。
 - ③ こうしたアンケート結果から今後のシニアへの活動展開は、シニアの生き方を実践へ方向づける。すなわち、“如何に変身するか”を一緒に考え歩く活動かもしれないという示唆を受け取りました。
 - ④ また、講演概要録への希望が多数でしたので、秋口には講演録として冊子にする予定です。
- 6) 市民講座開催に当たり協力頂いたことへの感謝について
- 開催は、一般社団法人シニア社会学会北海道部会が主宰し、一般財団法人人材支援機構が共催。札幌市、札幌市教育委員会の後援によるものでした。
- ① 4人の講師の皆さまには、ご多忙の中、無償でお引き受けいただきました。講演録をまとめることにしておりますが、この件につきましてもご了解を頂いています。②秋口には啓発用に作成し、ご協力いただいた関係先へも配布し、感謝に代えさせていただく予定です。
- (文責：竹川勝雄)

(2) 第41回「災害と地域社会」研究会の概要報告

- 1) 日 時：2017年7月12日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：柄本三代子(東京国際大学准教授)
- 4) テーマ：「食のリスクコミュニケーション」
- 5) 報告概要：

柄本三代子さんは、全体社会のなかで、政府、専門家集団、一般庶民、メディアのあいだで行われる社会過程を、「社会的コミュニケーション」としてとらえる立場から、この研究会で、ここ数年研究報告をしていただいています。今回の報告は前回に引き続いて「食のリスクコミュニケーション」がテーマです。現代社会において生産される食品には、さまざまな化学薬品が用いられ、農作物でもゼロリスクを求めることは不可能です。現代の新自由主義の行きわたった社会においては、われわれはたとえば食品安全基本法(2003)の下で設置された「内閣府食品安全委員会」の専門家たちに従って、一定の安全基準を満たしたものを選択する「よき市民」としての訓練を受け、それに従わないで健康を害した者には自己責任の烙印が押される仕組みが出来上がっています。しかし、他方では、たとえば放射能汚染の疑いのある食品でも安全のマークが付けられる過程に疑問を持ち、自らの選択を優先させるような行為が、風評被害の原因として断罪されるような事態を目にするとき、現代の政府と専門家を中心に行われているような「政策技術的リスクコミュニケーション」に批判の目を向け、本来の社会的リスクコミュニケーションの中でわれわれ自身の果たすべき役割は何かを再考する必要があることも事実です。

今回の報告は、日常的に口にする食品について、われわれはどのような情報に基づいて安全性を判断しており、またその判断と食品選択によってわれわれ自身がどのような責任を負っているのかについて改めて自ら問い直し、自らの市民としてのあり方を考えさせてくれる内容でした。

(長田記)

(3) 第46回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2017年7月27日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：討議 — 「『老いる権利』をどうしたら履行できるのか。」～その為にクリアしなければならない問題点と履行すべき制度や日常生活・習慣について課題を探る。

討議に先立ち、安田コーディネーターから、作成の討議資料『老いる権利の論点』の解説があり、引き続き討議を行なった。

- ・ 討議は活発に行われたが、特に『老いる権利』の概念、そしていま私たちは「社会」という概念と仕組みについて改めて認識する必要があること等の意見交換がなされた。
- ・ 濱口座長のコメントの1つに、何故いま『老いる権利』を語る必要があるのかいろいろな側面からの解説があり、『老いる権利』は第3の権利のレベルである。第1の権利は王権に対する人権、第2レベルは人権に基づく団体権団体交渉権などの社会権、第3レベルは人権や社会権の深化に伴い、「愚行権」的な権利保障が進展する。と述べられた。

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内

濱口副会長が主宰され、当学会が後援する表記講演会の第8期プログラム「日本人の肖像シリーズ」の第26回で濱口副会長が、第28回で安田和紘さん、佐藤敬さん、島村健次郎さんが講演されますので、ご案内致します。

1) プログラム

第26回日 時：2017年9月7日（木） 14：30～16：30

テーマ：相馬黒光の肖像 — 新宿中村屋の創業者にして近代日本の文化サロンのパトロン

講 師：濱口 晴彦

第28回日 時：2017年11月2日（木） 14：30～16：30

テーマ：新聞紙面から見えてくる社会の姿 — 格差・貧困・分断の問題を中心にして—

講 師：安田 和紘、佐藤 敬、島村 健次郎

2) 会 場：JR大磯駅前のエリザベス・サンダース・ホーム地域交流スペース

3) 申込み・問合せ：電話0463-61-0476 (こみゆにてー・パティオかりん・富山氏)

4) 参加費：1回 1000円 (島村記)

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>